



2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月6日

上場取引所 東

上場会社名 わらべや日洋ホールディングス株式会社

コード番号 2918

URL <https://www.warabeya.co.jp/ja/index.html>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 辻 英男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員

(氏名) 浅野 直 (TEL) 03-5363-7010

四半期報告書提出予定日 2023年10月10日

配当支払開始予定日 2023年11月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年2月期第2四半期の連結業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	103,011	5.3	4,491	33.0	4,862	59.0	2,758	71.7
2023年2月期第2四半期	97,858	2.0	3,376	5.7	3,058	△22.1	1,606	△34.0

（注）包括利益 2024年2月期第2四半期 3,695百万円（19.5％） 2023年2月期第2四半期 3,091百万円（1.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	157.95	—
2023年2月期第2四半期	91.99	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	99,214	54,014	53.3
2023年2月期	92,684	51,529	54.5

（参考）自己資本 2024年2月期第2四半期 52,893百万円 2023年2月期 50,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	65.00	65.00
2024年2月期	—	45.00	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	—	—	45.00	90.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年2月期の連結業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	208,000	7.0	6,300	26.4	6,750	45.8	4,000	42.3	229.04

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年2月期2Q	17,625,660株	2023年2月期	17,625,660株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	161,442株	2023年2月期	161,364株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年2月期2Q	17,464,257株	2023年2月期2Q	17,464,313株

(注) 当社は、役員報酬 B I P 信託を導入しており、信託が所有する当社株式は自己株式に含めて記載していません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、前日までに当社ホームページ (<https://www.warabeya.co.jp/ja/index.html>) に掲載いたします。

・ 2023年10月11日 (水) ・ ・ ・ ・ ・ 機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う人流増加などにより、緩やかな回復の動きが見られました。一方で、緊迫した世界情勢に加え、物価の上昇や金融資本市場の変動リスクなどにより、先行き不透明な状況が続いています。

食品業界では、原材料価格や労働コストの上昇に伴う商品価格の値上げが継続するなかで、消費者の多様化するニーズへの対応が求められています。

このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、主力事業である食品関連事業で回復が進み、1,030億1千1百万円（前年同期比51億5千2百万円、5.3%増）となりました。

利益面では、各セグメントで原材料価格や労働コスト上昇の影響を受けたものの、食品関連事業における売上回復効果や商品規格の見直しなどにより、営業利益は44億9千1百万円（前年同期比11億1千5百万円、33.0%増）、経常利益は48億6千2百万円（前年同期比18億3百万円、59.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27億5千8百万円（前年同期比11億5千1百万円、71.7%増）となりました。

セグメントごとの事業概況は、以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとしていた食品製造設備関連事業について、重要性が乏しくなったため、「その他」として記載する方法に変更しております。これに伴い、当第2四半期連結累計期間における比較および分析は、変更後の区分に基づいております。

[食品関連事業]

売上高は、新型コロナウイルス感染症による悪化影響からの回復が進み、904億8千7百万円（前年同期比50億9千7百万円、6.0%増）となりました。また、利益面では、原材料価格や労働コスト上昇の影響を受けたものの、売上回復効果や商品規格の見直しなどにより、営業利益は43億2千8百万円（前年同期比9億3千9百万円、27.7%増）となりました。

[食材関連事業]

おにぎり具材などの取扱高が増加したことにより、売上高は59億7千3百万円（前年同期比2億1千1百万円、3.7%増）、営業利益は1億6千3百万円（前年同期比1億2千6百万円、342.6%増）となりました。

[物流関連事業]

売上高は65億7百万円（前年同期比2百万円、0.0%増）とほぼ前年同期並みとなりました。営業利益は、共同配送事業の取扱高増加効果により、4億1千9百万円（前年同期比6千5百万円、18.6%増）となりました。

[その他]

売上高は4千3百万円（前年同期比1億5千8百万円、78.6%減）、利益面では2千4百万円の営業損失（前年同期は5千万円の営業損失）となりました。

なお、食品製造設備関連事業につきましては、2024年2月29日に事業撤退を予定しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて65億3千万円増加し、992億1千4百万円となりました。これは、売掛金、有形固定資産が増加したことによるものです。

負債は前連結会計年度末に比べて40億4千5百万円増加し、452億円となりました。これは、支払手形及び買掛金、長期借入金および未払法人税等が増加したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べて24億8千4百万円増加し、540億1千4百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金支払いの差引により利益剰余金が増加したことに加え、為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて16億1千4百万円減少し、95億7千4百万円となりました。

営業活動による資金の増加は65億1千7百万円(前年同期は40億4千1百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益(41億7千4百万円)、減価償却費(22億8千3百万円)によるものです。

投資活動による資金の減少は71億3千8百万円(前年同期は32億5千2百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出(△61億8千3百万円)によるものです。

財務活動による資金の減少は13億3千3百万円(前年同期は17億2千8百万円の増加)となりました。これは主に、配当金の支払額(△11億4千3百万円)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年4月11日付「2023年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表した、2024年2月期通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2023年10月6日)公表の「通期連結業績予想の修正、剰余金の配当(中間・増配)および配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,189	9,574
売掛金	15,879	19,133
商品及び製品	1,921	1,801
原材料及び貯蔵品	1,713	1,618
その他	1,640	2,559
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	32,344	34,689
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,632	58,656
減価償却累計額	△35,005	△35,988
建物及び構築物(純額)	22,626	22,667
機械装置及び運搬具	20,135	20,540
減価償却累計額	△15,531	△16,076
機械装置及び運搬具(純額)	4,603	4,464
土地	11,827	11,866
建設仮勘定	4,578	8,471
その他	14,451	13,577
減価償却累計額	△6,777	△6,561
その他(純額)	7,673	7,015
有形固定資産合計	51,310	54,486
無形固定資産		
その他	314	860
無形固定資産合計	314	860
投資その他の資産		
その他	8,828	9,292
貸倒引当金	△114	△114
投資その他の資産合計	8,714	9,178
固定資産合計	60,339	64,525
資産合計	92,684	99,214

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,486	10,340
1年内返済予定の長期借入金	940	862
未払金	8,146	8,153
未払法人税等	660	1,104
賞与引当金	1,334	1,448
役員賞与引当金	—	69
その他	2,510	3,098
流動負債合計	22,079	25,076
固定負債		
長期借入金	5,608	6,915
リース債務	6,952	6,947
退職給付に係る負債	4,058	4,117
役員株式給付引当金	228	248
資産除去債務	1,440	1,450
その他	785	443
固定負債合計	19,074	20,124
負債合計	41,154	45,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,049	8,049
資本剰余金	8,100	8,100
利益剰余金	33,183	34,796
自己株式	△335	△335
株主資本合計	48,998	50,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	242	235
繰延ヘッジ損益	2	10
為替換算調整勘定	1,304	2,069
退職給付に係る調整累計額	△50	△32
その他の包括利益累計額合計	1,499	2,282
非支配株主持分	1,031	1,120
純資産合計	51,529	54,014
負債純資産合計	92,684	99,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	97,858	103,011
売上原価	80,241	83,338
売上総利益	17,617	19,672
販売費及び一般管理費	14,241	15,180
営業利益	3,376	4,491
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	280	283
受取賃貸料	98	111
持分法による投資利益	—	47
その他	116	176
営業外収益合計	499	626
営業外費用		
支払利息	81	59
固定資産除却損	13	33
賃貸収入原価	86	86
持分法による投資損失	486	—
その他	149	76
営業外費用合計	816	255
経常利益	3,058	4,862
特別利益		
事業譲渡益	500	—
特別利益合計	500	—
特別損失		
減損損失	661	687
特別損失合計	661	687
税金等調整前四半期純利益	2,896	4,174
法人税、住民税及び事業税	1,235	1,273
法人税等調整額	△25	83
法人税等合計	1,209	1,356
四半期純利益	1,687	2,818
非支配株主に帰属する四半期純利益	80	59
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,606	2,758

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	1,687	2,818
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11	△6
繰延ヘッジ損益	4	7
為替換算調整勘定	1,204	785
退職給付に係る調整額	32	17
持分法適用会社に対する持分相当額	174	73
その他の包括利益合計	1,404	876
四半期包括利益	3,091	3,695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,894	3,541
非支配株主に係る四半期包括利益	196	154

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,896	4,174
減価償却費	2,340	2,283
減損損失	661	687
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19	113
受取利息及び受取配当金	△284	△289
支払利息	81	59
持分法による投資損益 (△は益)	486	△47
固定資産除却損	13	33
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,785	△3,205
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△589	235
仕入債務の増減額 (△は減少)	982	1,824
未払金の増減額 (△は減少)	35	869
その他	458	913
小計	4,275	7,651
利息及び配当金の受取額	284	292
利息の支払額	△34	△57
法人税等の支払額	△483	△1,368
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,041	6,517
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,452	△6,183
有形固定資産の売却による収入	2	50
無形固定資産の取得による支出	△20	△611
その他	△782	△393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,252	△7,138
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,450	1,304
長期借入金の返済による支出	△330	△475
リース債務の返済による支出	△989	△953
配当金の支払額	△880	△1,143
その他	477	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,728	△1,333
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,035	339
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,553	△1,614
現金及び現金同等物の期首残高	9,671	11,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,225	9,574

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(在外子会社等の収益および費用の換算方法の変更)

在外子会社等の収益および費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

この変更は、在外子会社等の収益および費用の重要性が増してきたため、一時的な為替相場の変動による損益への影響を緩和し、在外子会社等の損益をより適切に連結財務諸表に反映させるために行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理および開示に関する取扱いの適用)

当社および国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税および地方法人税ならびに税効果会計の会計処理および開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年3月1日至2022年8月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	85,390	5,762	6,505	97,657	201	97,858	—	97,858
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	153	2,464	2,618	12	2,630	△2,630	—
計	85,390	5,915	8,969	100,275	213	100,488	△2,630	97,858
セグメント利益又は 損失(△)	3,389	36	353	3,779	△50	3,729	△353	3,376

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△353百万円には、セグメント間取引消去523百万円および報告セグメントに配分していない全社費用△876百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年3月1日至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 計算書計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	90,487	5,973	6,507	102,968	43	103,011	—	103,011
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	166	2,601	2,768	—	2,768	△2,768	—
計	90,487	6,140	9,108	105,736	43	105,779	△2,768	103,011
セグメント利益又は 損失(△)	4,328	163	419	4,911	△24	4,886	△394	4,491

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△394百万円には、セグメント間取引消去44百万円および報告セグメントに配分していない全社費用△439百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとしていた食品製造設備関連事業について、重要性が乏しくなったため、「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(収益認識関係)

1. 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計		
日本	79,389	5,761	6,505	91,656	177	91,833
米国	6,000	—	—	6,000	—	6,000
その他	—	0	—	0	24	25
顧客との契約から生じる収益	85,390	5,762	6,505	97,657	201	97,858
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	85,390	5,762	6,505	97,657	201	97,858

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備関連事業を含んでおりません。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計		
日本	84,067	5,969	6,507	96,544	43	96,587
米国	6,394	—	—	6,394	—	6,394
その他	25	4	—	29	—	29
顧客との契約から生じる収益	90,487	5,973	6,507	102,968	43	103,011
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	90,487	5,973	6,507	102,968	43	103,011

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備関連事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来報告セグメントとしていた食品製造設備関連事業について、重要性が乏しくなったため、「その他」として記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。